

# 保育沖縄

—ほいくおきなわ—



第63号

◀日本保育協会沖縄県支部HP

2024年(令和6年)5月27日(月)

発行:日本保育協会沖縄県支部 支部長:幸田すがよ 編集:広報部/連絡先:098-884-5795

試験的に行い、年々改  
ります。課題もあるか  
と思いつますが、まずはか  
り希望する地域ではじ  
まります。色々な法案が決定  
する中、「子ども誰でも通園制度」が今年度よ  
り思います。色々、課題もあるか  
と思いますが、まずはか  
り希望する地域ではじ  
まります。

5月も後半となり初  
夏の訪れを感じる時期  
となりましたが、皆様  
お元気にお過ごしのこ  
とと思います。

日本保育協会沖縄県  
支部も新たな役員体制  
での支部運営が始まり  
ます。

今期も皆様方のご理  
解、ご協力のもと、頑  
張っていきたいと思いま  
すのでよろしくお願  
い致します。

こども家庭庁が創設  
され2年目となりま  
す。色々な法案が決定  
する中、「子ども誰でも通  
園制度」が今年度よ  
り思います。



## 支部長あいさつ

日本保育協会沖縄県支部

支部長

幸田

すがよ

善されていく事を望み

ます。  
また、75年ぶりに改  
訂される4・5歳児の

保育士適性配置も25対  
1へと変わります。

しばらくは、配置可  
能な園に加算をつける

といふ事ですが、保育  
士不足の現在、厳しい

園も出でくると予想さ  
れてります。

今期も、時代に沿つ  
た研修会や、勉強会な  
どを開催し課題解決、  
不安解消につなげたい  
と考えております。

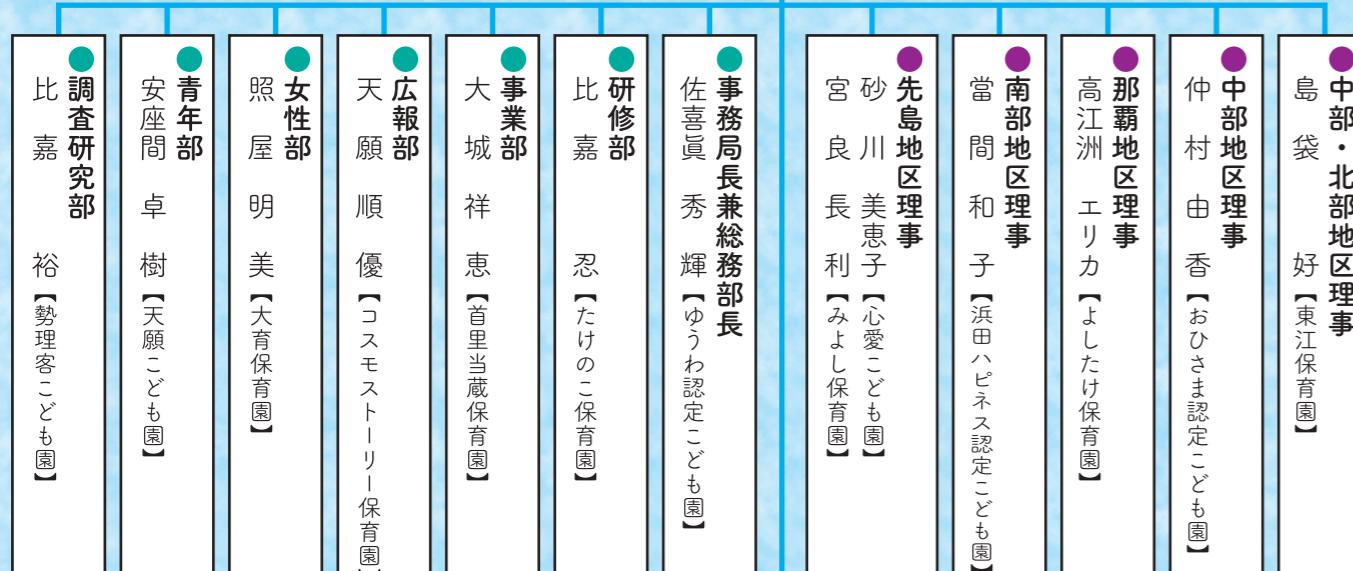
今期は、「保育まつ  
り」も予定されています。  
また、全国青年保育  
者会議全国大会も沖縄  
で開催されます。会員  
の皆さんのご理解とご  
協力をよろしくお願い  
致します。

色々な法案が決定  
する中、「子ども誰でも通  
園制度」が今年度よ  
り思います。色々な課題  
もあるかと思いつますが、  
まずはかぎり希望する地  
域ではじまります。

## 日本保育協会沖縄県支部 役員紹介

### ●支部長 幸田 すがよ【牧港ひまわりこども園】

### ●副支部長 玉城 真澄【豊見城こども園】 志良堂 貴子【しいの実保育園】



●事務局:渡口照子



よろしくお願いします

## 受賞者紹介

### 沖縄県功労者表彰

沖縄県の発展に寄与した者、県民の福祉の増進に功績のあった者  
その他県民の模範となる者についての表彰

玉城文子(ゆたか認定こども園園長)



### 社会福祉事業に対する知事表彰

社会福祉事業団体役職員として多年にわたりその職務に精励し、  
その功績が特に顕著である者についての表彰

安座間葉子(あげなこども園園長)



●コースおきなわ  
●ネットでかんたん♪  
●コープの宅配はじめませんか?

保育園企画限定  
ご加入でお買物券プレゼント

1,000円  
お買物券

WEB加入は  
こちらから

お問い合わせ  
組合員サービスセンター 0120-822-502 月~金9:00~20:00 公休日もOK

※その他自由記入欄に「日保協」とご記入ください

下記、お電話でも受け付け!  
後日、担当が説明に伺います

加入された組合員さんの声

仕事帰りのお買物は  
わが子のお迎えもあるし  
本当に大変でした。  
コープの宅配を利用してからは  
毎日レジに並ばなくていいし  
ストレスがなくなりました!

雨の日は  
特に便利♪

離乳食が  
豊富♪

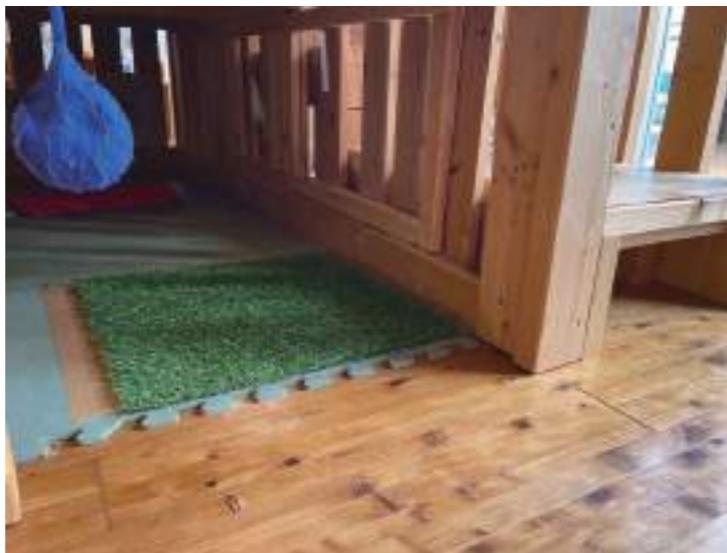
仕事が終わったら  
子どもを寝かせるまで  
時間との競争!  
コープで注文すれば  
買い物時間が節約できて  
ホント助かります



# 「充実した環境との応答を大切にした保育」



2階ベランダに設けた展望台。この展望台に登れば、南風原町の地域を眺めることができる。  
ロフトの下など、ちょっとした空間の床も木、人工芝、マットというように様々な感触の違いを味わえるようにしている。



室内には、様々なエリアがあり、数名がじっくり遊び込めるように環境が整っている。  
園庭には、菜園畑をはじめ様々な自然物と共に子どもの挑戦心を掻き立てるような工夫がされている。



保育室の装飾。子どもの作品と恐竜フィギアがコラボレートしている。  
デッキには、手作りテーブルがあり、昼食時間はここで食べられるようになっている（選択制）



室内には、職員手作りの様々な空間がある。最近、完成した手作り中庭。  
2階のベランダを有効活用しようと数ヶ月かけて造った場所。暑い日でも雨でも遊べる。



今後は、職員間の感覚共有を大切にしたいと思っています。保育者それぞれ、育つた場所も違うし、感じ方も様々だからこそ、その多様性を共有する意味でも井戸端会議のような話し合いを行いたいと思っています。また、職員には様々な文化を体験してほしいと思っているので、旅行してきてねと伝えるようにしています。

それでも、まずはコーナーを作つて見ることから始めようということで、そこで展開される遊びの構成とセットで行いました。外部の助言も頂き子どもの姿の変化などから刺激を受けながら進めていき、徐々に保育園全体に広がってきました。

また、日頃の保育の中で、子どもの遊びがマンネリ化しないように配慮しながら環境構成を行っています。例えば、担任保育者が子どもの遊びを見ていて、飽きてそうなら、話し合いの時間を設けて、コーナー自体を変えてみるか、そのコーナーの内容をもう少し足してみるか？引いてみるか？議論しながら環境構成を行っています。

このようないい保育（子ども一人一人の遊びを大切にした保育）に方向転換したのは、9年前の園舎立て替えがきっかけでした。方向転換する時に、見学した保育園をそのまま真似っこすると、目の前の子どもたちに合わなくなってしまうので、他園を参考しながらも職員同士で話し合いながら自園にとつての充実した保育を目指して進めていくことにしました。初めは、どうやって子どものことを見ればいいのか分からなくて、戸惑いや葛藤もありました。

マイフレンズ保育園では、子どもに経験させたい内容を環境に盛り込むようにしています。子どもたちは登園ってきて、様々なコーナーで遊びを展開していくます。例えば、一角に紐通し遊びをしたくなるような環境が設けられていますが、それも保育者が子どもに経験して欲しい内容（思い）を環境に込めているのです。



マイフレンズ保育園  
主任保育士  
平良智恵美先生



マイフレンズ保育園  
園長仲里実先生

話し手

動画CHECK!!



▲こちらを読み取ると動画をご覧頂けます

【宮古島市】社会福祉法人むすびの会 心愛こども園

# 「常に進化し時代に合わせた 丁寧な保育」



園庭にある遊具はほとんどが手作りで、保護者と共に環境づくりを行っている。  
環境づくりを終えた後は、BBQ や飲食を共にしながら保育や子育てについて語り合っている。



ままごとやごっこ遊びができる場、書いたり作ったりできる場、ブロック・積み木など構成遊びができる場、絵本や図鑑が読める場、自然物と関わる場などが用意されていて、子どもたちが主体的に自由に好きなコーナーを選んで遊んでいる。



令和6年1月に開催された保育フェスの様子。地域で活躍している方々をお招きし、  
ダンス、ピアノ、マジック、アクセサリ、ハーバリウム作り等のワークショップを行なっている。



0～2歳児は、各クラスのお部屋の一部のスペースを尊重しながら順番に食事を頂いている。幼児クラスは、ランチルームでバイキング形式で頂いている。

年に1回は、こども園でフェスも開催しています。園庭を解放し、地元のアーティスト（シンガーソングライター、ダンサー）などをお招きしています。こども園の保育士も本物がいる（舞踊、フラワー・レンジメント）ので、そこで保育士の個性も光る機会になっている。用務員のおばさんエアロビの講師もいますし、身近には様々なプロがいます。そして、保護者を招くと、コミュニティーができます。このようになりますし、子どもにとつても刺激的で憧れを持つ機会にもなると思います。

園庭にある遊具や環境は、保護者と一緒に作っています。最近、園庭に設けた築山も高さや形状を自分なりに考えて保護者と共に作ってきました。このように、手作りで環境を作ることを通して、子どもたちの遊びや生活は環境によって変化していくもの（ミクロ的にもマクロ的にも）だと改めて実感させられます。例えば、手作りベンチを園庭に置いただけでも、子どもたちはそこが気に入れば座って遊びますし、その場が新たに生まれることで全体の遊びや関係性も変化していきます。

また、保護者の働き方が多様化している今、起床時間や朝食時間など家庭によって異なる生活リズムの子たちがクラスには混在しています。家庭での生活スタイルに1～2時間差がある乳児を、同じ時間に一斉に食事・お昼寝などをさせるのではなく、0～2歳児は生活リズムに合わせて食事を頂けるようにして、3～5歳児はバイキング形式で食事をするなど、子ども達に負担がないよう丁寧に関わっています。

心愛こども園の理念は、「今を最も良く生き、生涯の生きる力を育む」です。そうすると、時代の変化に合わせて、これまでやってきた保育も変えていかないといけません。右肩上がりの時代では、一律に全員が指示通りに動くことを求められてきたと思いますが、これから予測不可能な時代では通用しません。だからこそ、子ども自身が興味を持って考え、探究的な活動や試行錯誤する経験を大切にしながら「生きる力」を育みたいと思っています。

話し手



心愛こども園  
副園長  
砂川秀成先生

動画CHECK!!



▲こちらを読み取ると  
動画をご覧頂けます

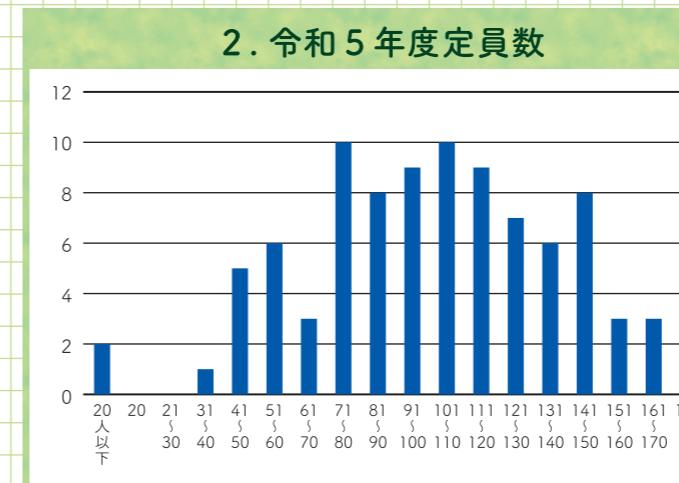
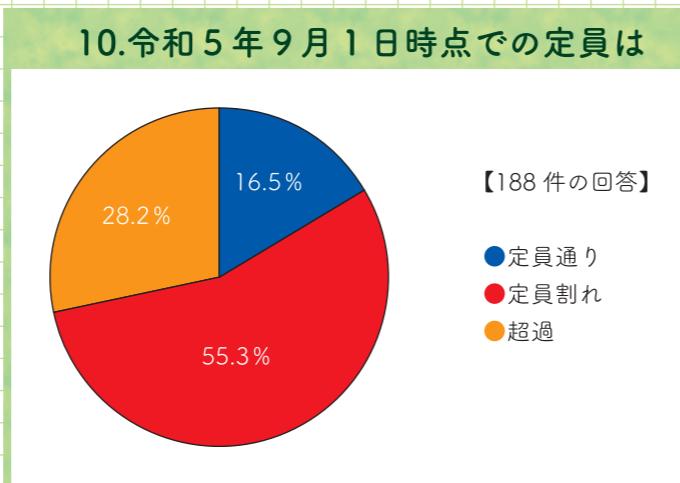
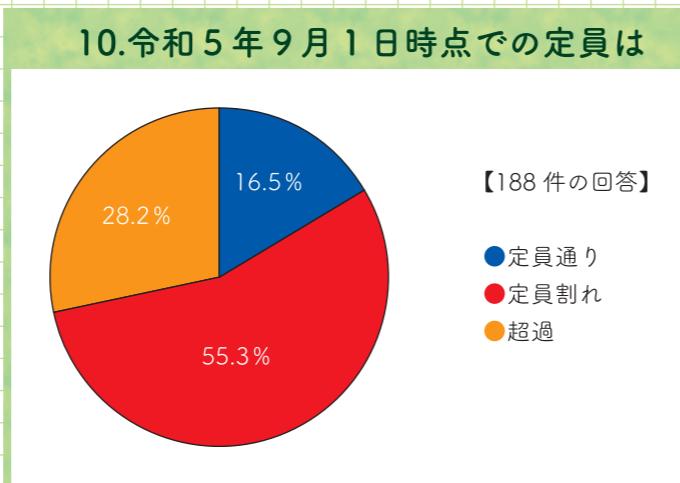
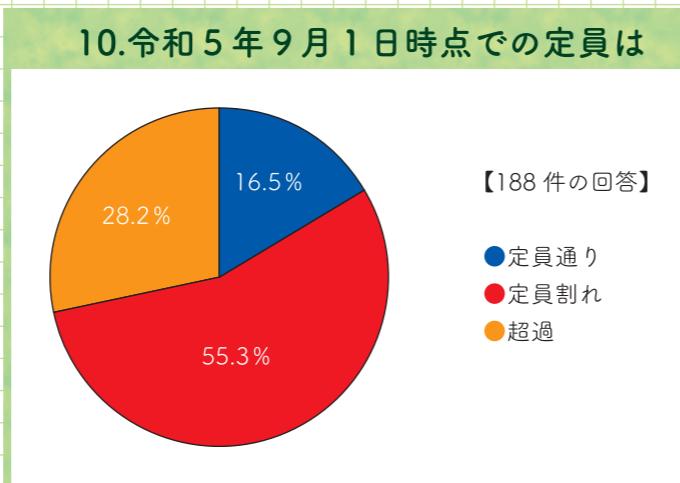
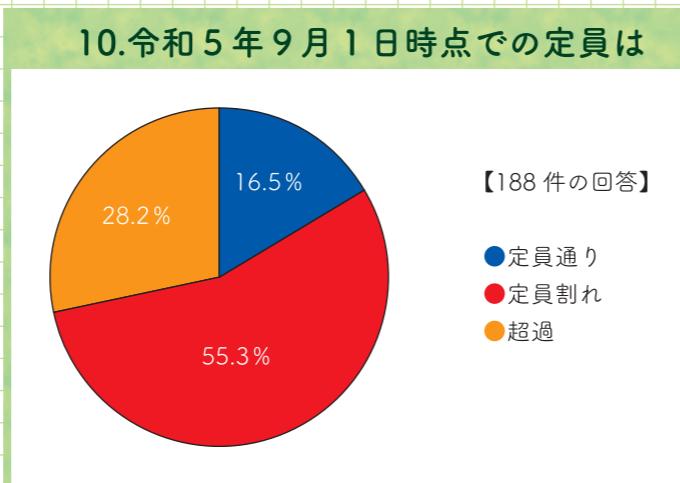
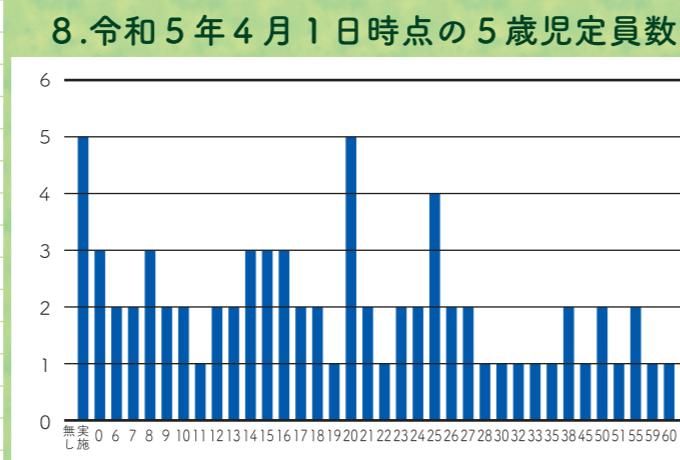
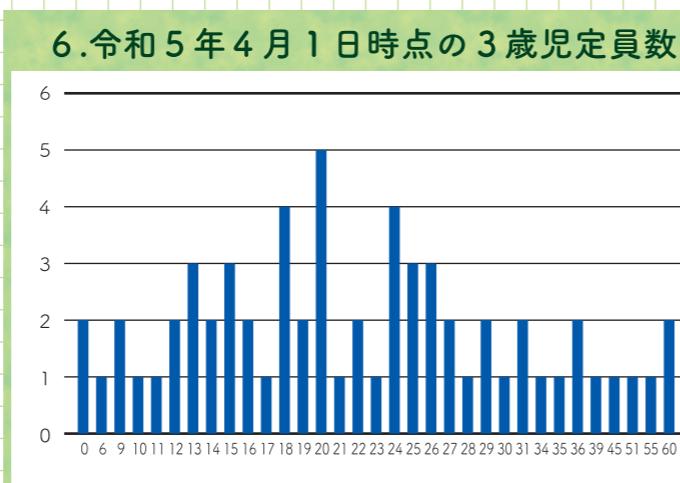
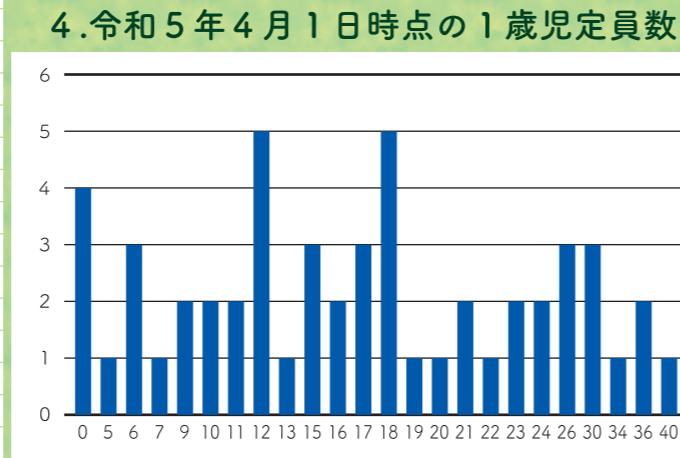
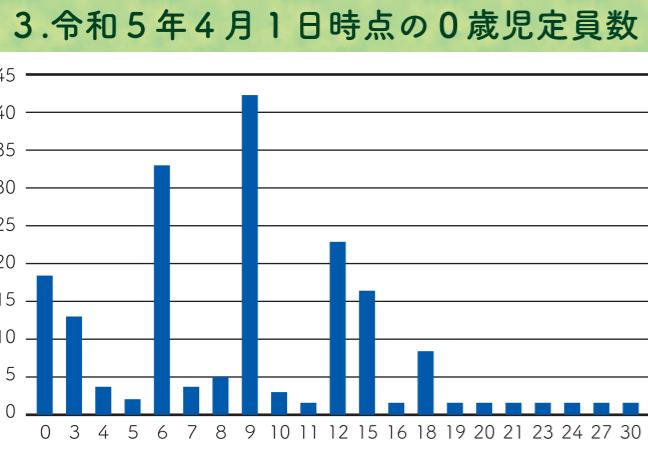
# 日本保育協会沖縄県支部 定員調査 調査結果

## はじめに

令和5年度の初旬ごろ、沖縄県からの定員調査が行われたと思われます。しかしながら、県の調査では定員を満たしているか否かだけの調査であり、園の経営状態や、各市町村の定員変更対応について等は見えない調査でした。そこで、各園の実態を把握し、県との意見交換の際に数字だけではなく、実態に即した情報を伝えられるよう定員調査を実施いたしました。

## アンケート内容

1. 保育施設形態
2. 令和5年度定員数
3. 令和5年度4月1日時点の0歳児定員数
4. 令和5年度4月1日時点の1歳児定員数
5. 令和5年度4月1日時点の2歳児定員数
6. 令和5年度4月1日時点の3歳児定員数
7. 令和5年度4月1日時点の4歳児定員数
8. 令和5年度4月1日時点の5歳児定員数
9. 令和5年4月1日時点での定員
10. 令和5年9月1日時点での定員
11. 各市町村の定員変更に関する状況
12. その他、定員に関する意見



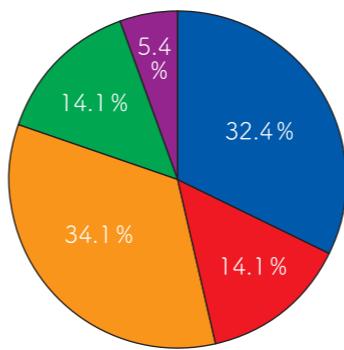
対象 / 日本保育協会沖縄県支部調査研究部  
回答数 / 188件  
期間 / 第1回・令和5年9月21日(木)～10月6日(月)  
第2回・令和5年11月6日(月)～11月20日(金)  
※回答数が会員の半数以下だったため再度実施  
(保育園、こども園、幼稚園、小規模保育園)

## 12. その他定員についての意見

- 0歳児の定員を設けていない園は各種加算がどうなっているかが知りたい
- 4月に0歳児の待機がないが、年度途中から、待機が出る為、定員の変更は出来ないとと言われた。
- 午後からの保育士が採用できれば0歳児の定員に達することができます。
- こども園と言えば、小規模で5歳児良いよ、誰でも預けられるよ。と、何をしたいの？その場しのぎ過ぎる。
- 待機児童問題が解決するまでは市町村は現状の速報があったが、現状ではない。また、待機児童問題があった時に市町村での受け入れ定員がどれ位増加し現状との乖離が分からないので、現状としては適正定員を客観視することが出来ない。そのことによって適正な経営を行うことが困難になってきている。
- そもそも、世界最悪の保育士配置基準で保育させられているので、定員を超過して人件費を確保しないと通常保育(11時間開所)もやってられない。やっと、令和6年度から4.5歳児の加算、1歳児の加算が公定価格に入れ込まれるようなのでやっと、やっと改善されつつあると感じる。定員を超えてこどもを預かるしか人件費の確保が出来ない仕組みですね。配置基準で保育できません。就労せられません。休憩あげません。年休もあげません。11時間開所できません。土曜保育も制限させないとこども預かれません。利用定員下げても、認可定員超えない範囲で弾力運用可能ですね。国は。しかも、利用定員下げたりするのは、法人の運営に関わるので、役所がとやかくいうことですか？拒否できるんですか？法人運営の責任を取らないくせに。自治体は、利用定員と認可定員の違い。弾力運用の可能なこと。とりあえず、国の配置基準では、こどもも保育も保育士も守れないことを理解して保育士がいるところにはきちんと人件費を補償して欲しい。保育士不足の根本的な原因を改善して。
- 特に無し
- 最低基準の見直しうまくリンクさせないと計画が立てられない
- 施設の増設により定員割れの施設が増えている。年齢よって保育単価に違いがあり、特に乳児クラスでの定員割れは運営に厳しい状況、申請書通りの配置数を調整してほしいです。地域に需要がない中での施設を増やしたことでの定員割れが発生した。
- 4月時点で募集人数が今後埋まらない可能性がある。また月齢が低い年齢の0歳児が増えた。4カ月の0歳児3名
- ここ数年定員割れの理由が毎年違うような気がします。
- 市町村によても違うだろうし、各園によても理由が様々です。保育園の職場環境を重視して頂い方が少子化対策にも経済活性化にも貢献できると思うが…言いたいことが多くあり、記入できません。昨年度は数百万円のマイナスでした。それでも役所は応じてくれませんでした。
- 少子化が徐々に進んでいる今、いずれは定員割れが起こるかもしれないと思われているが各園でそれが工夫していくことだと思う。それが実現できるよう行政の支援が必要なのでは？
- 今後定員割れがつづく状況であれば定員の見直しをしたい
- ゆとりを持って保育教諭の確保が出来ない
- 現在は定員割れはしていないが、豊見城市が今年度から急に1.2歳児以外弾力化を認めないと決定したので(小規模等が定員割れをおこしているため)弟妹が同じ園に入れないという課題がでてきた。よって次年度は0歳児の定員増を予定している。
- 保育士の確保が難しい。確保が出来たら0歳児1歳児を増やしていきたい。
- 令和4年度に新園が4園オープン。園が増えたことによりこれまであった弾力入所がなくなった。これにより弟妹が入所できなくなつたので、次年度より3歳児の定員増を予定している。また5歳児は進学予定の小学・校区のこども園を希望する傾向もでできたため、5歳児の定員割れが起きている。
- 市内には待機児童が存在している理由で0、1、2歳児の利用定員変更は認められない。園の実情に合った定員変更ができるようにして欲しい。
- 職員不足での定員割れ解消の為、行政が人材登録派遣業務をおこなってほしい。民間は高すぎる。0歳児が元々36名定員だったのを定員割れが酷かったので23名に落とし、2歳児を36名定員から48名に増やした経緯があるので、変更無ければ定員を大きく割っていました。
- 園長会を通して行政へ柔軟に定員変更ができるように要望をしていますが難しいようです。いつか柔軟に定員変更ができる時代がきたら嬉しいです。
- 少子化の加速と、施設の増加で定員減の園が多いのは今後も同じ傾向だろう。保育士の確保にもお金が掛かるので、定員の変更に対応して欲しいと切望する。
- 例年4歳児16名定員に対して2名～3名の枠が空いている。
- 元々2号にも希望で併願しても入れず1号にいる子達で、2号に欠員が出た際、その1号にいる子から2号に入ってくれれば良いと思

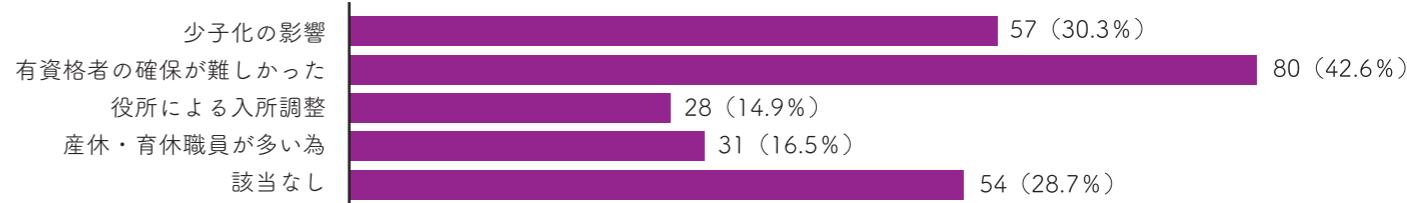
## 11. 各市町村の定員変更に関する状況

### 園運営への影響について教えてください 【185件の回答】



- 問題なく運営できている
- 定員超過しないと運営が苦しい
- 数年間に運営が厳しくなることが予想される
- 定員のねじれが起きており、運営が苦しい
- 特に影響はない

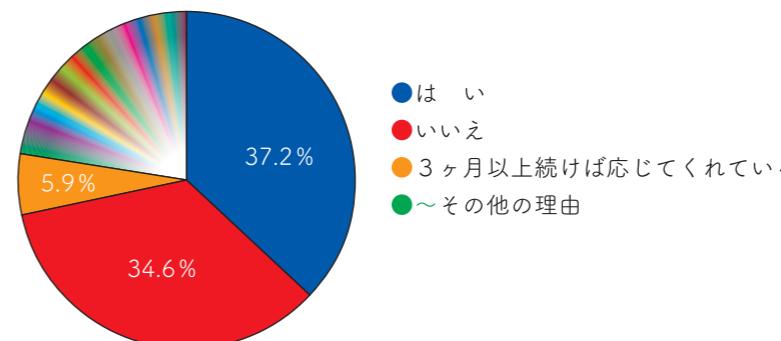
### 定員割れの理由を教えてください 【188件の回答】



#### その他の理由

- 3歳以上児に発達支援児が複数名いるため加配職員として配置しているため、3歳以上児については定員を満たしていないクラスがあります。
- 新設園の200名定員
- 近隣こども園に3歳児4歳児が流れていく。
- 5年度より5歳児保育開始、予定より入所児童が少なかった。
- どの園でも5歳児をするようになり選択肢が広がったため。
- 雇用契約を無視して年度途中で退職する保育士の存在。園児にも職員にも多大な迷惑をかけ、保育園には減算対象になり大変迷惑している。
- 特別支援保育に係る保育士が5名に増えた
- 3歳、4歳、5歳児の待機児童がいない
- 気になる子への保育士配置
- 同じ地区的子ども園への移動
- 認定こども園に移行したばかり
- 認定こども園増加による、申込者減少のため
- 全体では超過だが保育士確保が困難な為2歳児の受入を控えている
- 近隣に1号の需要が少ない。

### 定員割れの状況により、市町村は利用定員の変更に応じていますか？



#### その他の理由

- 過去3年間の定員割れが条件
- 今年度だけなので特に変更の依頼はしていない
- 以前から役場に定員変更をお願いしていましたが対応出来ないとのことで定員割れが続いている。
- 2年連続定員割れをした際は応じるとのこと
- 複数年定員割れが続けば応じてくれる
- 現在調整中
- まだ、変更届を出していない
- 決まった基準等の明示はなく、各園ごとに協議をしている
- 職員の積極雇用を行わない園があり、それを市側が問題視しており話合いが前に進んでない
- 0歳児クラスは保育士不足による定員割れのため該当なし
- 今のところ定員割れはおこっていない
- 待機児童の多い現在、まだ定員割れの心配はないと思っている
- 今の所定員割れはしていないが、近い将来起こりうる
- 全体での定員割れにならないのでまだ交渉していない
- 役所と相談しても決定に数ヵ月かかる
- 村に相談したことが無い
- 分からない
- まだ変更したことが無い
- 該当なしの為分からない
- これまでに変更依頼をしたことがないため分からない

# 保育沖縄

— ほいくおきなわ —

第62号



◀日本保育協会沖縄県支部HP

2023年(令和5年)9月29日(金)

発行：日本保育協会沖縄県支部 支部長：幸田すがよ 編集：広報部／連絡先：098-884-5795

様の役員一同、頑張る様が最も嬉しいです。終えられた。終りが早いことが出来ました。この会員が開催されたり、運営に協力したり、感謝申しあげます。また、去った5月29日は第73回に開催されました。この会員の皆様には、頃の支部運営にご協力を賜り心より感謝申しあげます。

さして、令和5年4月からスタートしました。今後も未だ、多くの課題が残りますが、その受け入れが、各地域で対応できるようになります。各支部、各支所を通じては、各支所で検討され、その内容は、今後、課題とならないと感じました。まだ、まだ実現策も山積具る



支部長あいさつ

日本保育協会沖縄県支部  
支部長 幸田 すがよ

参ります。また、「子ども家庭庁」についても、様々な案が検討されました。今後も未だ、「こども誰でも通園制度」の実現が望まれます。この制度が実現され、その中の利用時間が可能な仕組みとなることは、地域によっては、各園長の受け入れが、地域で対応できます。今後、課題が残りますが、その受け入れが、地域で対応できるようになります。各支所、各支所で検討され、その内容は、今後、課題とならないと感じました。まだ、まだ実現策も山積具る



## 令和5年度 第73回 定期総会並びに研修会

日時：令和5年5月29日（月）

場所：ロワジールホテル&スパタワー那覇（天妃の間）

主催：社会福祉法人 日本保育協会沖縄県支部

5月、第73回定期総会を滞りなく終えることができました。また、研修会では講師の大江恵子氏をお招きし「リーダーとしての園長・施設長の心得」について学び合うことができました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。



第62号



◀日本保育協会沖縄県支部HP

2023年(令和5年)9月29日(金)

発行：日本保育協会沖縄県支部 支部長：幸田すがよ 編集：広報部／連絡先：098-884-5795

★★ 新加入園紹介★★



社会福祉法人 大伸福祉会 しらかわこども園

【八重瀬町】

社会福祉法人大伸福祉会は、のびる保育園(昭和56年度開園)と、令和5年4月からは八重瀬町立幼稚園の認定こども園化により、新たに公私連携幼保連携認定こども園として「しらかわこども園」を開園しました。3歳児～5歳児の子ども達が、安心して園生活や遊びを楽しむ、かつ子どもの個性が豊かに發揮されるような教育・保育や、子育て支援事業、特別支援保育にも取り組みます。園庭には大きな木々や草花も多く、令和7年度には新園舎を建設し「自然を感じ・人を感じ・遊び体験のある園」として、子どもも大人も一緒に成長していきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



社会福祉法人 幸福義会 ねたて保育園

【宜野湾市】

小規模保育園として2017年度に開園し、6年目を迎えたねたて保育園です。小規模保育園ならではの保育を生かして、保育理念としている“愛情いっぱい保育”を職員一同、目指しています。子ども達に愛情いっぱい関わり、どの子も愛されていると感じられる保育を子ども達や保護者へ届けていきたいと思います。これからも子ども達、保護者の方々、職員の幸せを祈り保育を楽しんでいきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



社会福祉法人 わかめ福祉会 高江洲こども園

【うるま市】

高江洲こども園は、うるま市立高江洲幼稚園の移行に伴い、令和5年4月にうるま市高江洲に開園致しました。園舎前にはサトウキビ畑が広がり、静かな環境ではありますが、商業施設にも近く過ごしやすい地域です。開園したばかりで思考錯誤の毎日ですが、高江洲幼稚園での教育・保育を受け継ぎつつ、地域の方々に見守られながら、子どもも大人も安心できる場となれるよう日々、精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

## ★ 第45回全国青年保育者会議沖縄大会について ★

日時：2024年10月上旬 場所：ロワジールホテル

令和6年度10月に全国青年保育者会議沖縄大会が開催される予定です。実行委員長の安里淳先生と青年部長の安座間卓樹先生をはじめ大会実行委員会が大会に向けて、準備を進めています。皆様、どうぞ、よろしくお願い致します。



大会PV作成に  
向けての一コマ  
(撮影風景)  
はこちら



全国大会に向けて沖縄の綺麗な海をバックに撮影中。左から安座間先生、安里先生、大城先生、崎濱先生。

今回号より、保育の質をテーマに、各園の保育場面をご紹介し共有することを通して、加盟園（読者）にとって質向上のためのヒントになれたらと思っています。

【名護市】社会福祉法人巣立福祉会 すだつ保育園

## 「SDGs を意識した保育 豊かな自然の循環」



水、光、風、土など自然の循環が豊かに行われている。すだっこファームで育ったミニトマト。  
瑞々しくて美味しいトマトが実っていた。



園庭には、大きなモモタマナの木陰があり、夏場でもその影の下で涼しみながら遊ぶことができる。  
2階のベランダからは緑豊かな景色を眺めることができる。



ハッピーとラッキーのヤギ小屋。新しい小屋のペンキ塗りを担当したのは5歳児。つい先日、園で飼育していたハッピーとラッキーの赤ちゃんが誕生した。

大切にしています。

**動画CHECK!!**



▲こちらを読み取ると動画をご覧頂けます

また、ヤギの糞の肥料に加えて、コンポストを活用して給食の残飯を肥料にして、畑の栽培に使用しています。そして農薬はほとんど使わずに、地下水を用いて畑や植物の水やりを行うことなどをしています。



地球温暖化防止を防ぐために自然エネルギーの普及と環境教育を目的としている。  
発電設備で園の消費電力の約1割を賄える。手回し発電機による発電体験も行った。



裏山の自然物のほとんどが、自生している樹木。道の舗装も自分たちで行った。  
登っている途中には多様な自然物だけではなく、ブランコや手作り滑り台などの遊び場もある。

すだつ保育園は、SDGsにも意識した取り組みを行っています。先日、太陽光を活用した取り組みが(5歳児が手作りソーラー提灯を作った事例などが)沖縄タイムスに掲載されました。ソニー損保生命が投資しているソラベア基金を活用したものですが、県内初の「そらべあ発電所」の設置でした。

本園では自然環境も大切にしています。園庭からぐるっと坂道を登れば、自然豊かな「たんけん広場」に辿り着きます。その坂道は、0歳児の子どもにとつても、ちょうど良いぐらいの傾斜になっていて、行く先々で様々な自然との出会いがあります。子どもたちは、意外と物知りで、ダンゴムシがどこにいて、触るだけでころつと丸くなるなど教えてくれます。



すだつ保育園  
主任保育士  
天久 優奈先生



すだつ保育園  
園長  
嶺井 多美子先生

今回号より、保育の質をテーマに、各園の保育場面をご紹介し共有することを通して、加盟園（読者）にとって質向上のためのヒントになれたらと思っています。

【宜野湾市】社会福祉法人輝福社会 ゆうわ認定こども園

## 「子どものやつてみたいを徹底的に応援する保育」



幼児クラスは異年齢保育を行なっている。最近、フリー保育者（真ん中写真）が釣った魚拓が室内に飾られている（左写真）。釣った魚を捌く様子を子どもの目の前で見せた。興味を持った子どもがいつでも図鑑を開いて魚のことを探究できるような環境構成（右写真）。



保育士体験の参加記念のバッヂ（左写真）。先日、元校長先生がいらして、ワークショップを行った時の製作物（真ん中写真）。蝶々の話をした後に、貝殻やはんごで等を用いて、それぞれの蝶々を製作した。保幼小連携にも繋がっている。園庭と園舎の間にミストを設けて、暑さ対策を行なっている（右写真）。

保育をするときに意識しないと、ついつい言葉かけが多くなり、子どもの考える力を奪ってしまうことがあります。今日も、ミストを出している時に、支援児が空を見つめて、「虹に見える」と呟いていました。このようす、「出来たか出来てないか」というような視点で見るのはなく、子どもが何を感じて、どうしたいのかを読み取りながら、子どもの「やりたい」と思っています。

また以前から、保護者に保育士体験を（9時～16時の時間帯）してもらう機会を設けています。保護者も保育中、携帯使用は禁止です。子どもたちと関わり、園の給食やおやつと一緒に食べて、お昼は個人面談を設けています。保育士体験を行った保護者の方には、参加記念に記念撮影付きのバッヂをプレゼントしています。全体の3分の1は参加して下さっていて、中には両親どちらも参加する方もあります。

10年前に子どもの自己決定を大切にするために保育を転換しましたが、当初はとても大変でした。もとに戻そうか葛藤した時期もありました。それでも、めげずに本園の理念をベースにしながら県外の優れた保育実践の良いところを取り入れていきました。子どもが「食べたい」と思った時に食事を頂けるように保育を展開するためには、環境が追いつかない出来ません。子どもがやつてみたいということを支える環境があるからこそ、保育者は落ち着いて子どもの遊びを見守り、子どもの食事を丁寧に援助できると思います。



お昼時間の子どもの姿。0～2歳児は少人数と保育者と一緒に丁寧な関わりの中での食事。幼児は自分たちの好きなタイミングで食事を頂く。子どもの自己決定を大切にしている。



園庭は、平らではなく築山や固定遊具があり様々な空間が設けられている（左上写真）。ビオトープもあり、自然の雨水が溜まる。そこに寄ってくる生き物を観察する楽しさを味わっている（左下写真）。

乳児園庭もあり、ランチルームから見渡せるようになっている（右写真）。



ゆうわ認定こども園  
副園長  
宮里 弘美先生



ゆうわ認定こども園  
園長  
佐喜眞 秀輝先生

**動画CHECK!!**



▲こちらを読み取ると動画をご覧頂けます

今回号より、保育の質をテーマに、各園の保育場面をご紹介し共有することを通して、加盟園（読者）にとって質向上のためのヒントになればと思っています。

## 「地域に根付き見守られる保育」



保育園の隣にあらしろ公民館。その間に広場があり、園児はその広場を利用して遊んでいる（左写真）。子どもたちが遊んでいると、自然と地域のおじいちゃんやおばあちゃんが見に来てくれる（右写真）。園には安心感を地域には元気を与えてお互いプラスになっている。



地域の公民館で、保育園児と子育て中の親子の交流事業も行った。音に乗ってゆれようと題して、おすすめわらべうたと体操を楽しんだ。



◀後期（10月）に実施したスタンプラリーでお宮を目指そうのカード。



0歳からおじいちゃんまで参加し公民館をスタートして地域のいろいろな場所を巡った。「心と体の食育づくり」と題し食育伝導室のオバネちゃん・地域老人会・保育園で活動。



あらしろ保育園のお散歩マップ（左写真）。牛小屋や商店、あらしろ神宮などが記載されている。Google マップのような客観的な表記ではなく、その園で暮らしている保育者や子どもの視点から描かれている。農家の方など、地域の方々との繋がりを大切にしている。

▲動画CHECK!!

▲こちらを読み取ると動画をご覧頂けます

このように、本園は、地域との繋がりがあつての保育だと実感しています。先日、園の後ろに住んでいるおじいちゃんが「日曜日は子どもの声が聞こえないから寂しいよ」と話してくれました。その時に、地域から愛されていると実感しました。これからも、地域との繋がりを大切にしていきたいと思います。

お散歩に行くと、おおかど商店と八百屋さんが見守りながら「気をつけて帰りなさいよ」と伝えてくれます。また、散歩で消防署にも行くことがあるからなのか、消防車が通った時に、手を振つてい公館の前に停まってくれたこともあります。

昨年度、公民館の区長さんからの声かけを頂、地域活性化助成事業に参加する機会を頂きました。地域活性化助成事業とは、公益財団沖縄県地域振興協会の地域活性の為の助成を受けて活動する事業です。公民館等を活用し、前期（6・7・8月）後期（9・10・11月）と二期に分けて、地域の子育て中の親子や老人会などと一緒に活動を楽しみました。

先日も地域からの愛を感じるエピソードがありました。本園のお散歩コースの中に、牛小屋がありまして、そこに散歩に行って牛を見学していたのですが、その農家の方が、「手洗い場と休憩場」を子どもたちのために設けてくれました。また、ピーマン農家の方から出荷は終わっただけ（商品にはならないけど）、まだ実があるので、収穫体験のお誘いを受けました。こちらからすると綺麗で、3～5歳児が喜んで収穫してきました。



あらしろ保育園  
主任保育士  
國吉 東美先生



あらしろ保育園  
園長  
外間 綾子先生

# 保幼こ小接続について 架け橋カリキュラムの開発をいかに進めるか



無 藤 隆 氏  
(白梅大学名誉教授)

経歴：小学校学習指導要領・幼稚園教育要領などの改訂、また架け橋プログラムの作成などの主査を務める。

現在、幼児教育を受けて小学校のつながりをもつと広げていこうとしています。その流れの中で国として、架け橋プログラムを作ろうとなっています。現在のスタート・カリキュラムやアプローチ・カリキュラムを発展させ、幼児の年長の一年間と小学校の「一年生」の年間のどの単元・活動でもをカリキュラムとしてつなぐというのが「架け橋カリキュラム」として進めているものです。

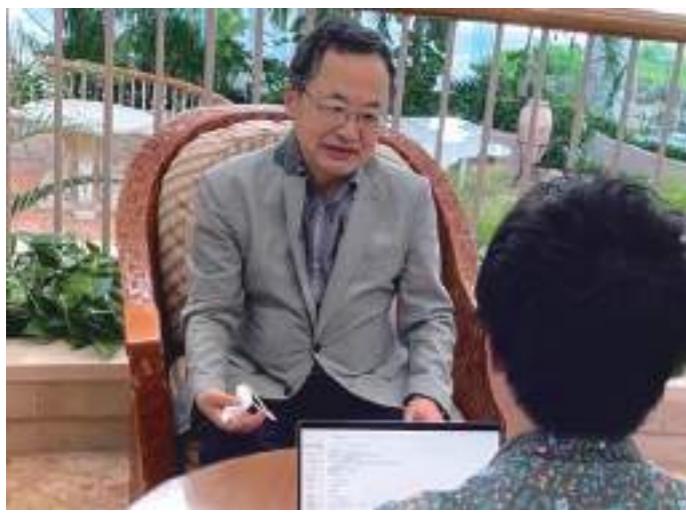
では、具体的に何をすればいいのでしょうか。幼児期の姿の発展として、1年生の教育というものが展開していくこと、小学校には教科があります。就学前施設でやっていること真似て、小学校1年生でも同様の保育をしなさいとは言つていません。小学1年生は1年生としての展開があります。いくら子どもの個性と言つても、きちんと教えるのですが、導き方に、子どもの個性や興味を生かしながらやろうよということなのです。

例えば、子どもは幼児期の終わりまでにひらがなをたいていは読めます。ひらがなであろうと、知らない言葉だと、読めていないのです。「たんぽぽが咲いていて」と書かれていると大人は意味を理解できますが、子どもの場合は「タンボポガサ、イテ」というふうに、区切るのは意味がわかつていません。多くの子は知つている単語は読めるが、単語の意味がわからないこともあります。そういうのを感じて覚えていくのです。算数なんかもそうです。どんぐりで、足し算も引き算もできます。でも小学校1年生の授業は筆算ですよね。幼児期の子どもにとつて感覚的にわかつているけど、筆算は難しいのです。さらに桁の概念が入ってくるともつと難しくなってきます。つまり、直感的な理解と手順として明確にできる理解は、レベルが違うのです。

国語においては、自分が思つても、文章に書くとうのは難しいのは難しいですね。動物園に行つたと後に、私たちは映画のように写真のような場面が出るが、児童に聞けば、喋りますが、それを作文してごらんと言われると固まります。児童は色々と考えているが、それを文字にするのは難しいのです。書くことをよっぽど、明確にしないと難しいのです。

実は、小学校ではそのように児童が経験したことを見つけています。その事情を小学校の先生に分かってもらおう必要があります。それが見えないと、たとえ保育園や幼稚園、認定こども園に小学校の先生が見学に来たとしても、「ああ遊んでいるね」ということになってしまいます。小学校では、座って学習スタートだよ」ということになってしまふ。楽しい遊び以上のことが、その先生には見えてくると、接続の意味も変わってくるのです。

では、児童期の学びはどういうものなのでしょうか。子どもたちは色々な体験をしています。児童期のことは、それを小学校も意識して、受け止めようということです。何か始めた時にもつとやりたくなります。そのため繋がることもあります。それを抱き、かかわり、学びに向かう力にも繋がりますし、工夫していく中で「あ、そういうふうに使えばいいんだ」ということを知ります。そのような経験を活かしていくければ、もっと小学校で勉強が楽しくなると思います。



小学1年生は、小学校の低学年の授業を、なんとなく分かっています。字を書くことなど、ひたすら練習ドリルを行うこともあります。字を書くことなど、ひたすら練習ドリルを行なうことがあります。例えれば、文字を書くときも、子どもにとって「とび」「はね」は覚えにくいと思います。でも、それは指導を工夫すれば、もっと簡単にイメージすることができます。全てのひらがなは一筆書きであり、そういうことを伝えると字を覚えるのが楽になります。算数だと「7+4は?」「11」になることは分かる。しかし、その数字を縦に書いてしまうことがあります。または、11を1の位に書いてしまうこともあります。そんなときに、「この1とこの1一緒にかな?」と問うのです。おはじきを使うと、同じ1だが、重みが違うことに気付きますね。

例えば、「大きなかぶ」という絵本がありますね。子どもたちに聞いてみるとします。すると、「ねこも出るよ」「犬も出るよ」などなど発言してくれて、子どもは、だいたいのお話は分かっているのです。それのどこかに謎があります。例えれば、「でも、さあ、最後にねズミが出てきて、それで抜けるつておかしくない?」や「猫とネズミが併んでいい?」などという問い合わせが広がりますね。もっと高級な謎ですと「他に何が出てくるかな?」という言葉で、例えば、「大きなカブ」という絵本は謎だらけなのです。1年生はそこまでいきませんが、大きなかぶ的に実際に身体を繋いで後ろに引くと、うまく抜けないのです。「じゃあ、どういう人が出できたら抜けるかな?」「『うんとこしょ、どっこいしょ』」という言葉以外は?」など問い合わせを投げかけてみるのです。当たり前の物語の筋を淡々とすると終わってしまうと勿体無いのです。本来、小学校の授業は、謎が沢山あって、考えていくことが大切なのです。算数の計算も、どうなっていくかというふうに広がっていくのです。

今後は、保育者と小学校の先生はお互いにもつと知る必要があると思います。小学校の先生は保育を、保育者は小学校の授業を見る必要があります。ばんやりみていてもわからないのです。どちらも、解説が必要だと思います。その先がある。どんな芽生えがあるか踏み込んで見てほしいのです。小学校も優れた先生は、一律に教えているわけではありません。いかにして子どもの考えを引き出そうとしているか苦心しています。保育場面において色々な芽生えがあるわけで、保育者として意識して行なうことで繋がりが生まれるのです。その意識する時に、例えば「10の姿」が出てきます。10の姿の「数量、図形の関心・感覚」ということを考えると、それをどんぐりを拾つて数えたりするよね。カルタあそびする時に、どっちが多いか数を比較しているよね。さつまいも収穫の時に、どれが多い、重いか比較しているよね。などなど色々な場面で数えていることがわかります。それを整理して、伝えると、小学校の先生は驚くと思います。拾い出し集と言つてもいいと思います。そういうことをもつともつと意識的に行なっていくと小学校の授業が楽しくなっていくと思います。どの教科も児童期の授業は、あそびや遊びで、その教科も児童期の授業が樂しくなっています。そのため、児童が学ぶ内容は、学ぶ方法は、児童の学び方によって変化します。そのため、児童の学び方によって授業の内容も変化します。そのため、児童の学び方によって授業の内容も変化します。

# 日本保育協会沖縄県支部 顧問弁護士ニーズ調査結果

対象 / 日本保育協会沖縄県支部加盟保育施設  
回答数 / 160件

期間 / 第1回・令和5年2月13日～2月18日  
第2回・令和5年3月27日～4月8日

※回答数が会員の半数以下だったため再度実施

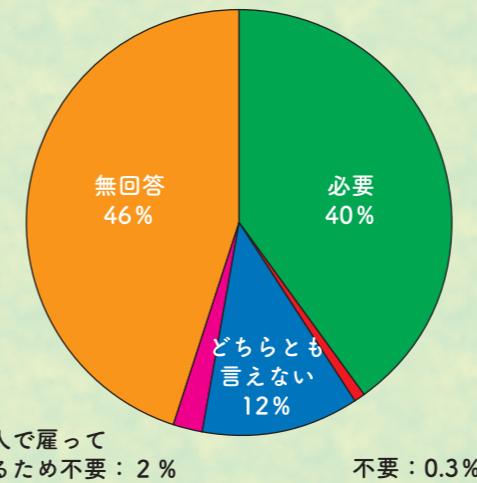
## はじめに

人出不足が騒がれる中、女性の社会進出も進み、保育施設は必要不可欠な生活インフラとなりました。保育園・こども園も増え、様々な子育てニーズに対応するため各施設が努力しているのが現状だと推察します。しかし、行政対応の複雑化、「働き方改革」への対応、事故への対応、ハードクレームへの対応、人材不足等々、保育業界を取り巻く課題は山積です。このような社会の変化と多様なニーズに対応するためには今までとは違う対応を求められています。現状があるのではないでしょうか？様々な課題に対応するために、法人単体で顧問弁護士を雇うことは難しいとのご意見が協会に寄せられていたため、今回、顧問弁護士を協会で雇うことについてアンケートを実施いたしました。

## 2. 日本保育協会沖縄県支部で 顧問弁護士を雇うことについて

加盟園295園

- 必要：118園（40%）
- 不要：1園（0.3%）
- どちらとも言えない：34園（12%）
- 既に法人で雇っているため不要：6園（2%）
- 無回答：136園（46%）



## 中立意見

1. 沖縄県支部で弁護士を雇用することはスケールメリットはあると思います。  
ただし、近郊で気軽に相談等行えることが必要だと考えます。豊見城市園長会でも現在弁護士の顧問契約を検討しております。

2. 常に誠意を持って対応しているつもりではあるが年々子育てしていることに厳しい社会情勢になってしまっているよう思っています。保育士や園も守っていかなければならぬ立場にあると思うので致し方ないのは：

3. 顧問弁護士として雇う場合の契約の内容を明確にし、会員の了承を得る事が大事かな。  
4. 協会で顧問弁護士を雇うことで保育園業界における問題について意見対応を仰ぐ事ができることも可能かと思われますが、園独自の「へビーナ」問題に対しては法人での弁護士が必要と思われるケースもあると考えられます。協会で雇うときの契約賃金等どこまでの対応可能なかは検討していく必要があるのではと感じます。

5. 園で弁護士を使ったことがあります。協会で相談できる弁護士がいると心強い。負担金額にもよりますが。

6. 市の法人園長会で顧問弁護士を雇う話し合いをしているので、動向による。

7. コスパとの兼ね合いか？年会費の増額が如何にになるかによるかも：

8. 単独で弁護士が必要になる場合は、個別に費用などを負担することになると思われるのでも、会費で費用を負担する効果を考える必要性に疑問を感じる反面、事故に起因するトラブルやストレス等から職員を守るために、協会も施設を孤立させないというメッセージを送ることも必要かと思われる。

9. 利用する園が多いなら必要だと思いますが、必要性を感じない園が多い場合は顧問弁護士が無駄つかいになるのではないか？と思っています。

10. 園で起きた問題を気軽に相談できればいいと思う。相談するのに細かい手続きがあると使いづらい

11. 園で弁護士を使ったことがあります。協会で相談できる弁護士がいると心強い。負担金額にもよりますが。

12. 市の法人園長会で顧問弁護士を雇う話し合いをしているので、動向による。

13. コスパとの兼ね合いか？年会費の増額が如何にになるかによるかも：

14. 単独で弁護士が必要になる場合は、個別に費用などを負担することになると思われるのでも、会費で費用を負担する効果を考える必要性に疑問を感じる反面、事故に起因するトラブルやストレス等から職員を守るために、協会も施設を孤立させないというメッセージを送ることも必要かと思われる。

15. 利用する園が多いなら必要だと思いますが、必要性を感じない園が多い場合は顧問弁護士が無駄つかいになるのではないか？と思っています。

16. 園で起きた問題を気軽に相談できればいいと思う。相談するのに細かい手続きがあると使いづらい

17. 園で弁護士を使ったことがあります。協会で相談できる弁護士がいると心強い。負担金額にもよりますが。

18. 市の法人園長会で顧問弁護士を雇う話し合いをしているので、動向による。

19. コスパとの兼ね合いか？年会費の増額が如何にになるかによるかも：

20. 単独で弁護士が必要になる場合は、個別に費用などを負担することになると思われるのでも、会費で費用を負担する効果を考える必要性に疑問を感じる反面、事故に起因するトラブルやストレス等から職員を守るために、協会も施設を孤立させないというメッセージを送ることも必要かと思われる。

21. 利用する園が多いなら必要だと思いますが、必要性を感じない園が多い場合は顧問弁護士が無駄つかいになるのではないか？と思っています。

22. 園で起きた問題を気軽に相談できればいいと思う。相談するのに細かい手続きがあると使いづらい

23. 園で弁護士を使ったことがあります。協会で相談できる弁護士がいると心強い。負担金額にもよりますが。

24. 市の法人園長会で顧問弁護士を雇う話し合いをしているので、動向による。

25. コスパとの兼ね合いか？年会費の増額が如何にになるかによるかも：

26. 単独で弁護士が必要になる場合は、個別に費用などを負担することになると思われるのでも、会費で費用を負担する効果を考える必要性に疑問を感じる反面、事故に起因するトラブルやストレス等から職員を守るために、協会も施設を孤立させないというメッセージを送ることも必要かと思われる。

27. 利用する園が多いなら必要だと思いますが、必要性を感じない園が多い場合は顧問弁護士が無駄つかいになるのではないか？と思っています。

28. 園で起きた問題を気軽に相談できればいいと思う。相談するのに細かい手続きがあると使いづらい

29. 園で弁護士を使ったことがあります。協会で相談できる弁護士がいると心強い。負担金額にもよりますが。

30. 市の法人園長会で顧問弁護士を雇う話し合いをしているので、動向による。

31. コスパとの兼ね合いか？年会費の増額が如何にになるかによるかも：

32. 単独で弁護士が必要になる場合は、個別に費用などを負担することになると思われるのでも、会費で費用を負担する効果を考える必要性に疑問を感じる反面、事故に起因するトラブルやストレス等から職員を守るために、協会も施設を孤立させないというメッセージを送ることも必要かと思われる。

33. 利用する園が多いなら必要だと思いますが、必要性を感じない園が多い場合は顧問弁護士が無駄つかいになるのではないか？と思っています。

34. 園で起きた問題を気軽に相談できればいいと思う。相談するのに細かい手続きがあると使いづらい

## まとめ

今回の顧問弁護士のニーズに関して半数以上の賛成意見を頂いた一方、金額や相談内容等が具体的ではなかったため、顧問弁護士を設置するためには、会員の皆様から上がる質問等に丁寧に回答する必要があることが分かりました。また、半数近くの園が無回答だったという事実を踏まえ、現時点では日本保育協会沖縄県支部での顧問弁護士契約は不用だと考えている園が多くあるのではないかと推察されます。

一方で、近年、保育施設に関する様々なニーズが報道され、福祉施設運営者の不安感や悩みが増す一方です。各施設で、10年前では考えられなかつたような対応を迫られていました。難しい案件の話を聞いて不安になつたりと保育業界を取り巻く課題は山積です。このような社会の変化と多様なニーズに対応するため、日本保育協会沖縄県支部として確りと会員園のご意見を受け止め、顧問弁護士以外にできることを模索し続けた必要がありますと考へております。お忙しいなアンケートへのご協力ありがとうございました。